

2009年度

科目名	書道史A		
担当教員	永田 誠		
配当	日文2	コード	54190
開期	前期	講時	金曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	中国の太古から中華民国に到る各時代の書道の歴史と名品鑑賞		
目的と概要	中国の各時代の書道史の概要を知り、名品を鑑賞することによって漢字書の真の美を理解し、書を愛好する心情と感性を養うと同時に芸術に対する諸能力と豊かな情操を育てる。		
成績評価法	鑑賞レポート、毎時提出する作品、小テスト、授業態度、出席重視。3回以上欠席した場合は、単位の取得を認めない。(遅刻3回を欠席1回とみなす。)		
テキスト	技法講座付和漢書道史		
参考書	必要に応じて紹介する		
履修に当たっての注意・助言	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校で書道を選択あるいは塾等で学習し、相応の実力を持っていること。 ・実技も加味するため、自宅での繰り返し練習を望む。 		
講義計画			
<p>第1・2回 太古・三代・秦時代の背景と書道史の概要 文字の創成と古文・大篆・小篆・古隸・八分を鑑賞し、甲骨文・金文を書く。(画仙紙)</p> <p>第3・4回 前漢・後漢時代の背景と書道史の概要 木簡(竹簡)章草体・隸書全盛時代の諸碑拓本を鑑賞し、木簡・隸書体を書く。(画仙紙)</p> <p>第5・6・7回 三国・西晋・六朝(南朝)時代の背景と書道史の概要 隸書と楷書の中間体の文字、楷・行・草の完成した文字を鑑賞し、楷書・行書・草書を書く。(画仙紙)</p> <p>第8・9・10・11回 六朝(北朝)・隋・唐(初唐)時代の背景と書道史の概要 造像記・墓誌銘・千字文・三大家の楷書を鑑賞し、それらを書く。(画仙紙)</p> <p>第12・13回 唐(中・晩唐)・五代・宋時代の背景と書道史の概要 個性的な書風(宋朝四大家)を鑑賞し、それらを書く。(画仙紙)</p> <p>第14・15回 元・明・清・中華時代の背景と書道史の概要 破格の書(王鐸・張瑞図等)の作品を鑑賞し、それらを書く。(画仙紙)</p> <p>※ 必要に応じ「書の道…中国書道の旅」ビデオを使用する。</p>			